

議 会

なかたね

だより

162号 令和4年2月10日発行

令和3年第3回定例会

決算認定	②～④
一般質問(2人)	⑤～⑦
令和3年度補正予算	⑧～⑨
防衛省説明会	⑩～⑪
常任委員長報告	⑫～⑬
委員活動報告・意見書・ 一部事務組合	⑭～⑮
移住者インタビュー・編集後記	⑯

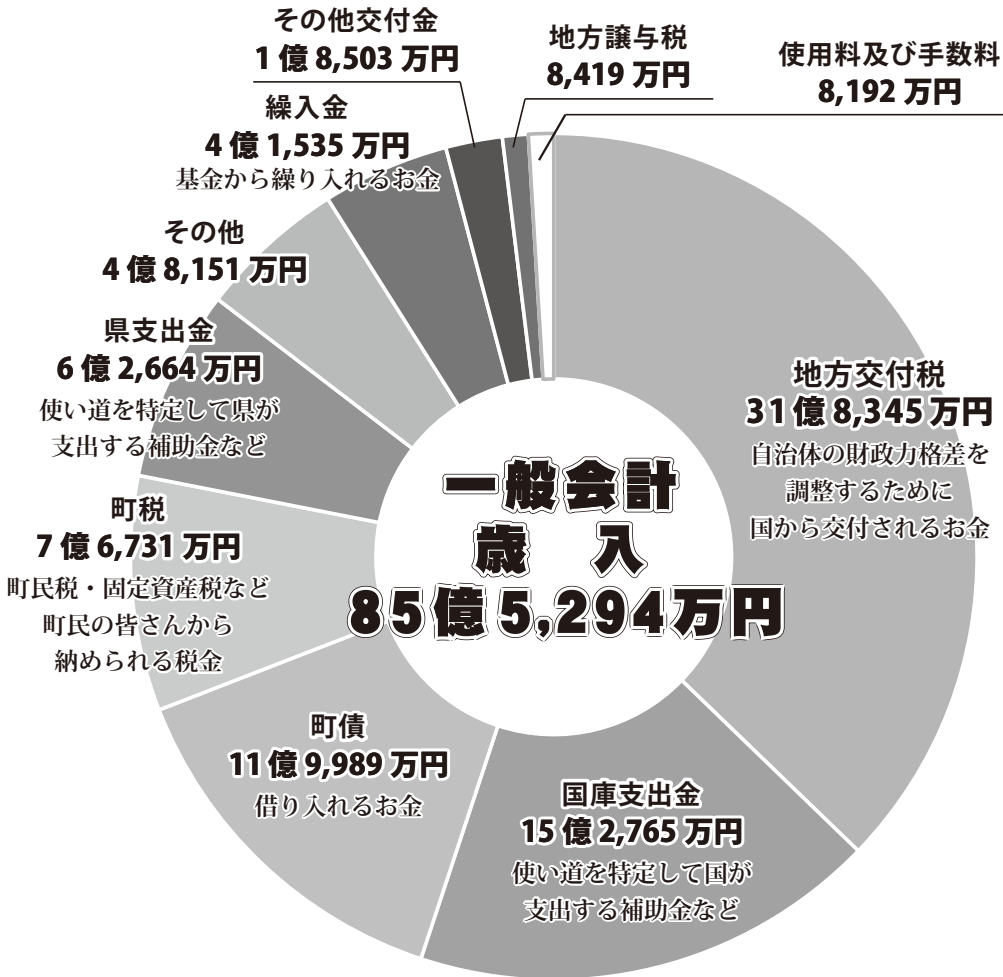


再会に笑顔はじけて

令和4年成人式

策で膨らむ 一般会計歳入

26.5%増 85億5,294万円



各会計の決算（令和2年度分）審査のため、去る9月27日から30日までの4日間、関係職員の説明を求め、決算特別委員会を開催しました。

令和2年度決算認定については、決算特別委員長から報告がされ、採決の結果、全会計について認定がされました。各会計の決算額は別表のとおりです。

一般会計決算の概要

令和2年度の歳入歳出決算では、差引額9億545万円、翌年度への繰越財源や財政調整基金の積立金などを

加味した実質単年度収支は、7555万円の赤字決算となりました。

前年度と比較すると、歳入で17億9294万円、歳出で17億6904万円それぞれ増加しています。

特別会計

3つの特別会計決算額の差引額は787万円、前年度と比較して、歳入で3031万円、歳出で3687万円増加しています。

水道事業会計

収益的収入及び支出の差引で1281万円の黒字で、損益計算書で3378万円の当年度純損失となっています。

資本的収入及び支出の差引不足額1億5003万円は、過年度及び当年度損益勘定留保資金と当年度分消費税及び地方消費税資本的

収支調整額から適正に補填されています。

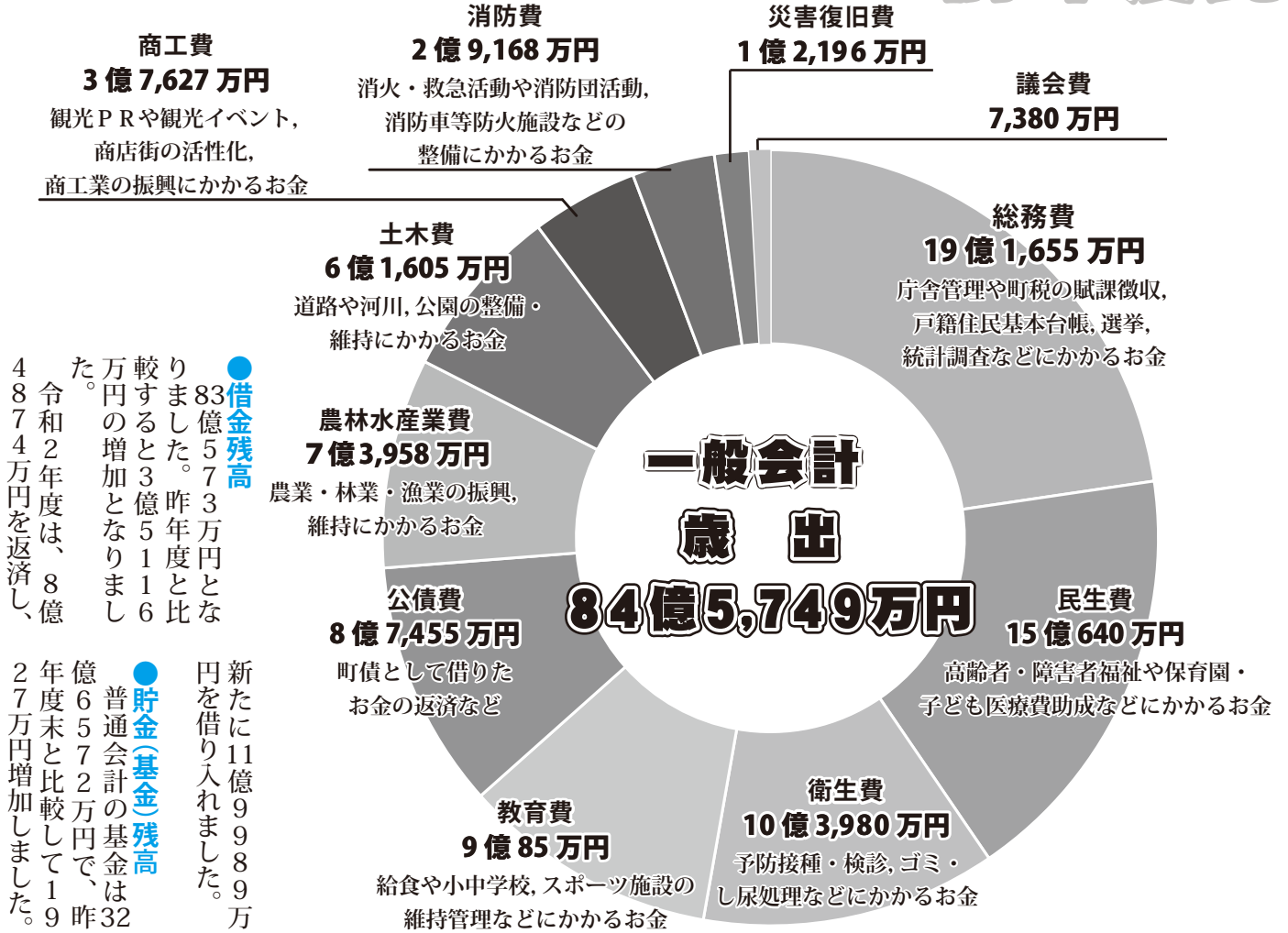
まとめ

人口が減少していく事が予測される中で、地方を取り巻く財政状況は先行きが不透明であり、新型コロナウイルスの影響により財源の確保はさらに厳しさを増すものと予想される。このような状況を踏まえ、各事務事業等の抜本的な見直しを継続するとともに、従来にも増した経費削減・合理化をはじめとし、行政改革の推進に努めていきたい。

税収等の自主財源確保のためにも対策を強化し、収入未済額の解消、不能欠損処分の防止に積極的に取り組む、計画的かつ効率的な行政運営により一層の町民福祉の向上・増進に寄与されるよう要望する。

令和2年度 決算

ヨロナ支援 前年度比



[別表] 令和2年度会計別決算状況と議決結果

区分	歳入(収入)	歳出(支出)	差引	採決の結果	
一般会計	85億5,294万円	84億5,749万円	9,545万円	全員賛成	
特別会計	国保会計	12億5,459万円	12億4,993万円	466万円	全員賛成
	介護保険会計	11億5,422万円	11億5,267万円	155万円	全員賛成
	後期高齢者医療会計	1億5,522万円	1億5,356万円	166万円	全員賛成
水道事業会計(収益)	3億2,935万円	3億1,654万円	1,281万円	全員賛成	
水道事業会計(資本)	6億2,781万円	7億7,783万円	▲1億5,003万円		

**決算特別委員会
での質疑意見**

問 猟友会による捕獲頭数は年々減ってきている。

問 園中委員 税金徴収業務の日誌等は整備されているか。

問 浦邊委員 地域活性化交付金の戻しが多かったような話を聞くと、どのような状況だったか。

問 日高委員長 中央保育所支援センター事業で980万円程度計上されているなかで、500万円が人件費になっているが、効果はどうだったか。

答 徴収に行った場合はシステム入力管理しており、その内容を入力し、課長にも報告することになっています。

答 令和2年度については、当初コロナの事は考慮せず計画を立てた申請であり、予定していた行事を行えなかったため返納が例年より多くなっています。

答 相談の機能強化と仲間づくりの場となっており、事業の効果はかなり高いと思います。

問 迫田委員 職員一人一人の能力を最大限発揮できるように取り組みをしたとの説明だが、具体的にどのような取り組み組んだか。

問 濱脇委員 鳥獣被害対策事業について、昨年度は852頭駆除したとのことですが、生息頭数は減ってきているのか。

問 橋口副委員長 介護予防計画の中で360万円程度計上されているが計画作成料か。

答 1年間の目標を立ててもらい、最終的に自己評価を行い、上司に評価をして頂きアドバイスをすることにより一人一人のスキルを上げるようにしています。

答 調査をしていないが、

答 包括支援センター職員で作成した延べ443件の計画作成料になっています。

コロナ対策での主な事業

**GIGAスクール
ペーパーレス会議**



持続化支援金



プレミアム付き商品券



特別定額給付金



一 般 質 問

町政のそこが聞きたい！



迫田 秀三 議員



QRコード

- 行政のデジタル化にどう取り組むか
- コロナ禍の各行事の在り方は



濱脇 重樹 議員



QRコード

- 避難訓練 その成果は
- 葉たばこ廃作農家への支援は

※QRコード・・・インターネットにより録画を見ることが出来ます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。



田淵川 寿広 町長

行政のデジタル化にどう取り組むか

町長 町民へのサービス向上のため
強力に推進していく

いききたいと考えます。

また、ペーパーレス会議システムや、行政手続きの押印廃止なども、住民にとって有益なデジタル化と捉え、推進して



迫田 秀三 議員

迫田 国はデジタル庁を創設し、デジタル化の動きを加速している。中種子町としてどう取り組むか。



▲会議はタブレット

町長 デジタル庁の創設は、デジタル社会の実現に向け、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を目的として設置されたものです。

本町としても、住民サービスを正確かつ迅速に提供し、行政事務の合理化を図るために必要不可欠なものであると捉え、本町で導入可能な行政手続きのオンライン化などに取り組んでいきたい。

迫田 推進していくための組織体制の整備、見直しの必要性は。

町長 国の方向性が見えてきて、地方行政に対して指針が示された場合は、それに対応した課や、係の再編というのは必要と考えています。

また、デジタル化に伴う課題もあることから、しつかり対応、検討して

コロナ禍での各行事の在り方は

いく必要があります。

町長 昨年度より多くの行事を中止せざるを得ない状況でありましたが、ワクチン接種も9割を超えていること、感染者数についても落ち着きを見せていることから、感染対策を万全にしながら開催できる方向で検討していく必要があると考えます。

今後、新たな変異株の状況も見ながら、治療薬や、ワクチンの研究も進んでいくと思えますので前向きに、積極的に考えていきます。

迫田 教育現場においての学校行事、少年団活動等の在り方をどう考えるか。

教育長 文科省の衛生管理マニュアルを基に、

できる道を考えていくべきでは。

町長 昨年度より多くの行事を中止せざるを得ない状況でありましたが、ワクチン接種も9割を超えていること、感染者数についても落ち着きを見せていることから、感染対策を万全にしながら開催できる方向で検討していく必要があると考えます。

今後、新たな変異株の状況も見ながら、治療薬や、ワクチンの研究も進んでいくと思えますので前向きに、積極的に考えていきます。

町長 国や県と連携してコロナ禍において、影響を受けている方を対象に幅広く支援を進めていきます。国、県ではカバーしきれない部分については、町でしっかり支援をしています。



濱脇 重樹 議員

避難訓練 その成果は

町長 防災に対する意識は高揚している

濱脇 これまで、校区単位で避難訓練を実施しているがその成果は。

町長 年々住民の防災に対する意識は高揚してきていると思っております。

各地域の高齢者等の避難路の確認や防災アドバイザーの講義なども行われており、意識は高まっていると認識しています。

濱脇 町民の防災意識の向上にはどういったことが必要なのか。

町長 訓練していくのが基本と認識している。防災関係の各団体と連携しながら、町も一緒に取り組むことが必要だと思っています。

濱脇 野間校区の避難訓練は行なっていないが。

町長 津波被害に該当する地域が、多くある場所を中心に訓練を行なっています。来年度以降、要望等を踏まえながら計画をしていきます。

濱脇 訓練を実施することで出た問題点・課題はどう改善したのか。

町長 訓練の反省会議の中で、改善点や問題点の情報を共有しています。改善できる部分については、関係機関で対応・対処しており、次の防災訓練での実施内容等にいかしています。

濱脇 コロナ禍の中で、避難所の体制も変えていかなければならないと思うが、その対応は。

町長 昨年度から地方創生臨時交付金を活用して整備を進めています。

日頃から災害への準備、対策の強化は進めております。

濱脇 防災意識の向上につなげるため、集落単位の避難訓練も考えるべきと思うが。

町長 大変有用なことだと思います。訓練に対する資料等は、対応していきます。

滑な転換を図るため、新規作物等の導入・検討、整備などの取り組みを総合的に支援するものです。国が可決後、町としても検討していく考えています。

濱脇 営農を継続できるように県と一緒にヒアリングをしているが、その内容は。

町長 国が本年度の補正予算に、葉たばこ作付け円滑化緊急対策事業案を計上しています。内容は葉たばこから需要のある他の作物への円

葉たばこ廃作農家への支援は
国・県と協力して支援する

濱脇 葉たばこ廃作農家に対して、機械の購入計画や技術的な指導などの支援は出来ないのか。

町長 国が本年度の補正予算に、葉たばこ作付け円滑化緊急対策事業案を計上しています。内容は葉たばこから需要のある他の作物への円



▲増田地区避難訓練

令和3年12月定例会

12月定例会は、12月8日招集され、12月16日までの9日間の会期で開かれました。

初日は、2人の議員が一般質問を行いました。その後、令和3年度補正予算4件、条例改正7件など原案どおり可決しました。

最終日は、令和3年度補正予算1件、発議2件、他議案1件を原案どおり可決しました。なお、陳情1件は不採択となりました。(関連ページ14、15ページ)

子育て世帯を支援

一時金支給 1億1,738万円

令和3年度12月補正予算

新型コロナウイルス感染症が長期化し、その影響が様々な人々に及んでいます。特に子育て世帯については、その未来を拓く観点から、0歳から高校3年生までの子供たち1人当たり10万円の給付を実施するものです。



補正予算の概要

補正第6号は、国県支出金の決定による調整と新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の追加、9月補正予算以降必要となった経費の計上が主なものです。

補正第7号は、国が給付する子育て世帯臨時特別支援給付金を年内に、全額現金給付するために必要な経費を計上するものです。

歳出

民生費は、給付金関連経費と、障害福祉サービス利用者増と認定こども園等利用者増による扶助費の増額。

商工費は、ふるさと応援寄附金返礼品経費の増額と雇用機会拡充事業の決定による補助金を減額。

教育費は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった各種イベント関連経費の減額と増田小学校バリアフリー化等工事による経費の追加。

会計毎の補正額と予算の総額は、別表のとおりです。

質疑応答

問 歳入の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の充当先は。

答 今回の交付金は、避難所での感染防止にかかわる備品購入に対する歳出です。

問 増田小学校の支援学級に対するバリアフリー化は、他の学校でも実施されるのか。

答 対象者で入学予定があり希望される場合は、財政当局と協議していく。

[別表] 令和3年度会計別予算額

会計名 (補正号数)		補正額	補正後の予算額
一般会計	(第6号)	3,569万円	75億561万円
	(第7号)	1億1,738万円	
特別会計	国民健康保険会計 (第3号)	△3億656万円	13億6,549万円
	介護保険事業会計 (第3号)	△70万円	12億4,850万円
	後期高齢者医療会計 (第3号)	49万円	1億5,049万円
水道事業会計(収益的支出) (第2号)		-	3億1,625万円

隊員宿舎3市町に整備

馬毛島基地防衛省が説明

12月20日に防衛省は

隊員宿舎は西之表市・

航空自衛隊新田原基地

町当局と議員に対し、

中種子町・南種子町に

に配備予定の最新鋭ス

馬毛島で進める米軍空

分散配置し、常時勤務

テルス戦闘機F35Bの

母艦載機陸上離着陸訓

する隊員は「150」

「模擬艦艇発着訓練」と、

練（FCLP）移転と

200人程度」を想定

航空機が未舗装の場所

自衛隊基地整備計画に

しているとの説明があ

りに離着陸する「不整地

伴う基地施設配置案や、

りました。

着陸訓練」用の施設が

1市2町の施設整備案

基地整備に伴う米軍

加わりました。

について説明を行いま

再編交付金や補助金の

制度についても紹介さ

した。

度、再編交付金は20

れ、再編交付金は20

中種子町には、隊員

22年度に予算計上す

る方向で検討している

訓練や悪天候で馬毛島

とのことでしたが、具

体的な額や交付時期は

拠点となる施設や管理

明言しませんでした。

津脇港を「通勤港」と

画しており、また、浜

今回新たな基地配置

案も示され、新設する

津脇港を「通勤港」と

2本の滑走路と別に、

して使う計画を示しま

した。

した。

管理事務所とは・・・

種子島における業務

悪天候時に馬毛島に渡

れない場合における、

基地機能の維持及び施

設管理等のために設置

するものです。

物流倉庫とは・・・

応急用資機材の保管

や種子島において調達

した資材や食料品の一

時的な保管のために設

置するものです。

再編交付金とは・・・

米軍再編により生じ

る影響を受ける市町村

において、住民の生活

の利便性の向上等に寄

与する事業を行なうこ

とが、米軍再編の円滑

かつ確実な実施に資す

	西之表市	中種子町	南種子町
施設整備案	宿舎	宿舎	宿舎
		管理事務所	車庫
		錬成訓練施設	車両整備工場
		物流倉庫	自衛隊ヘリポート

再編交付金とは・・・
米軍再編により生じる影響を受ける市町村において、住民の生活の利便性の向上等に寄与する事業を行なうことが、米軍再編の円滑かつ確実な実施に資す

るため必要と認められた場合交付するものです。



委員会レポート 産業厚生委員会

どうなる？オーギ・からいも

きび、甘藷の現状と今後の見通しを調査

去る10月28日、防災センター及び、新光糖業において、関係職員の出席を求め本町の基幹作物である、きび、甘藷の現状と今後の見通しについて調査研修しました。

まず、でん粉原料用甘藷については、反収見込みでは昨年を上回るものの、作付面積は減少している。青果用についても減少している。基腐病の影響が心配されるとの説明でした。

その基腐病については、昨年度より島内でも発病が確認され、今年度は増加傾向にあるとのことでした。

対応策については、各関係機関等で調査研究されているものの、決定的な打開策は今な

お見出されてなく、対応に苦慮しているところであり、今後も国の動向や関係機関との連携を図りながら必要な対策を講じていきたいとの説明がありました。

その後、さとうきびの現状と今後の見通しについて会社としての立場で説明がありました。

まず、今期の状況としては、大きな気象災害もなく順調な生育を

見せており、品質においても期待できるのではないかと。生産量としては、全島で約15万トン、前年比約2割の増収を見込んでいるとの説明でした。

今後については、農家戸数が減少していく中で、生産量を確保していくことが重要。そのためには、優良種苗による反収アップを図りながら作付面積の維持拡大を図って行きたい。

そこに向けて全社一丸となって取り組んでいくとのことでした。

質疑応答

問 基腐病がサトウキビに与える影響は。

答 影響はないと考えています。

問 病気になった芋の処理はどうしているか。

答 圃場を選定し、農家持ち込みにより、すき込み処理をしています。

問 「はるのおうぎ」の普及による品種割合は。

答 県の目標値としては50%、黒穂病に弱いのでバランスよく作付けしてほしい。

問 会社として行政に望むことは。

答 組合、法人化へのサポート。それから、余剰バガス等を利用しての堆肥センターを作ったらと思います。

まとめ

本町は農業の町であり、その基幹作物として甘藷・サトウキビが位置付けられている。これらの産業を守り、維持発展していくためには、各事業者等関係機関のより一層の連携が不可欠であり、特に耕畜連携の体制の確立が急務であるとの委員全員の一致した意見でした。



▲視察の様子



▲基腐病

活気ある商店街に!

空き店舗の活用について

10月29日、企画課職員の出席を求め「空き店舗の活用について」の調査を行いました。

課長より、就労形態の変化や車社会の進展、市街地周辺の品揃えの良い商店での買い物の便利さなどが、地域の商店の衰退につながり、廃業せざる状況となってきた。

そういったなか、商店街を中心とした町内商工業の発展と時代に応じた地域づくりを目指したコミュニティ組

織「コアストリート in 中種子運営委員会」が発足。

中種子町が輝く町であり続けるための活動に取り組み、だれもがチャレンジへの一歩を踏み出すための支援拠点として、空き店舗を活用してチャレンジ拠点「YOKANA」がオープンし、少しずつ活性化に向けた動きが出てきているようです。現地調査では、旭町商店街にあるチャレンジ拠点「YOKANA」と「コアストリート in 中種子運営委員会」



▲ YOKANA

を調査しました。

チャレンジ拠点「YOKANA」は、相談をいただいで、一緒に相談を聞いて、アイデアを一緒に実現していく事であり、まずは、相談してもらえるところになってくれれば良いと思っています。とのことでした。

現在520人ほどの来場者、チャレンジ支援・相談者が22名、7件のフリーマーケットでまだまだ周知徹底を図ることが課題とのことでした。

「コアストリート in 中種子運営委員会」では、2018年から開設し、角の商店が閉まっているのがさみしく思われ、商工会としても何か活動できればとの思いからスタートしたようです。

現在は朝市を実施し、今後収益で家賃等の運営費に充てる考えです。

質疑応答

問 発信の方法については、SNS等あると思

うがどのような形で行っているか。

答 協力隊として広報誌に乗せてもらっているのが一番の大きな力になっていく。ワークショップ・フリーマーケットで町民の方々が利用してくれるのがありがたいとのことでした。

問 朝市の出店数は。

答 農家の方から花・苗・野菜は5〜6カ所、飲食店組合から3件ほど、テイクアウトで持って

いける料理を出している。働いている方は、無償ボランティアのことでした。

まとめ

商店の現状から「いかにして商店街を盛り上げていくか」「空き店舗等どのように活用していくか」が大きな課題。

「人の集まる場所」として、特性を生かした一体的な取り組みが必要であると委員全員の一致した意見でした。



▲ コアストリート

さとうきび視察

今年も期待大

さとうきび操業視察

12月16日、定例会終了

後、全議員で今期の安全操業と激励を兼ねて新光糖業への視察を行いました。

前田社長から挨拶がなされ、今期は台風被害もなく、生育期の天候にも恵まれ、収量・品質ともに前年を上回ることが予想されていること、工場においては、集中制御室が完成し、運転管理



▲品質取引を熱心に視察

及び作業の効率化に期待しているとの説明がありました。

また、新品種「はるのおうぎ」をはじめ、優良種苗の供給についても、新会社SOSを中心に

今後の増産に向け全従業員一丸となって取り組むと力強く述べられました。その後、ビレットプラントー植付圃場を視察しました。

今期の操業は、4月18日までの予定です。

種子島屋久島議会議員大会要望活動

「第10回種子島屋久島

議会議員大会」で決定した左記の要望について、

鹿児島県知事及び鹿児島県選出の国会議員へ要望活動を行いました。

① 新型コロナウイルス感染症拡大における財政的支援について(西之表市議会)

② 県道野間島間港線の整備促進について(中種子町議会)

③ さとうきび品質取引

に係る基準糖度帯の見直し並びに生産回復対策について(南種子町議会)

④ 屋久島空港の早期事業化について(屋久島町議会)

⑤ サツマイモ基腐病の根絶に向けたまん延防止対策について(共同提案)

要望活動の状況

令和3年11月4日、知事応接室において、1市3

町の議長及び松里県議により塩田県知事に要望活動を実施しました。

同日午後、鹿児島県議会田之上議長を訪問し、同様の要望活動を実施しました。

11月16日に鹿児島県選出の国会議員に1市3町の議長が要望活動を実施しました。森山代議士には要望書を手交

の上それぞれの議長が要望内容を説明しました。

【陳情者】

向井 尊磨氏

【趣旨】
陳情の趣旨は、川内原発の「20年運転延長」に伴う課題の調査・研究を早急に開始し議会での議論及び市民への情報提供に取り組むこと。

【審査の結果】

原子力発電の発電における電気エネルギーは安定し、安価である。

原発に変わる代替エネルギーが示されていない。情報提供は、鹿児島が「原子力だより」を発行している。町議会議員だけでは正確な情報提供は出来ないのではないか。

などの意見が出され、採決の結果不採択すべきものと決定いたしました。

陳情

「川内原発20年運転延長に伴う課題の調査・研究と、議会での議論及び住民への情報提供を求める件」

自衛隊による離島からの急患搬送体制の維持を求める意見書

【提出者】

迫田 秀三 外6名

より搬送されている。切に対応していくとしているが、自衛隊救難ヘリは離島住民の命に関わる重要な課題であるので、離島からの急患搬送体制が安定的かつ持続的な運用の下、引き続き維持できるよう強く要望する。

このような中、海上自衛隊鹿屋航空基地内の第22航空隊鹿屋航空分遣隊が2022年度末で廃止され、後継機の導入や廃止後の具体的な部隊運用は、まだ不確定である。離島の急患搬送は、引き続き適

離島振興法の改正延長を求める意見書

【提出者】

迫田 秀三 外6名

展した。しかしながら、離島においては、厳しい自然的・社会条件の下、人の往来、生活に必要な物資等の輸送に要する費用が他の地域に比較して多額であることのほか、医療提供体制や産業基盤、生活環境等が脆弱といった、本土との地域格差は、引き続き対応すべき課題である。よって、国においては、現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒常化も視野に入れて延長されるよう、強く要望する。

離島においては、昭和28年離島振興法が制定されて以来、離島振興政策が推進され、生活条件の改善、産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成が大きく進

一部事務組合

◆中南海衛生管理組合議

会

令和3年第2回定例

会(9月21日)

令和2年度一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額4億4117万7039円、歳出決算額4億2688万847円で翌年度繰越額1429万6192円となり、採決の結果認定されました。

定されました。

◆熊毛地区消防組合議

会

令和3年第2回定例

会(10月25日)

令和2年度の一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額9億4811万6576円、歳出決算額9億2200万4402円で、差引額は2611万2174円となり、採決の結果認定されました。

となり、採決の結果認定されました。

◆種子島地区広域事務

組合議会

令和3年第2回定例

会(10月25日)

令和2年度の一般会計歳入歳出決算認定については、歳入決算額7億2561万8035円、歳出決算額7億795万8005円で、差引額は1766万30円となり、採決の結果認定されました。

◆公立種子島病院組合

議会

令和3年第2回定例

会(9月21日)

令和2年度の病院事業会計決算については、収益的収入及び支出で、収入が8億6097万2771円、歳出が8億6366万5248円、当年度純損失額となり、採決の結果認

◆種子島産婦人科医院

組合議会

令和3年第2回定例

会(10月25日)

令和2年度の事業会計決算認定については、事業収益額2億5619万4351円、事業費用額2億4887万5140円、当年度純利益731万9211円



▲種子島産婦人科医院

Youは何しに中種子町へ?

Why did you come to Nakatane?



移住者インタビュー



このコーナーは、中種子町に移住された皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じて欲しいと思います。

また、ご一報いただければ取材にお伺いします。よろしくお願いします。



▲本藏さん一家

◆**移住のきっかけは**
私は、阿久根市出身で前の職場で種子島に転勤で来た時、竹屋野集落

少し気が強いけど、私をしつかり支えてくれる妻。子供達は反抗期もなく休日は畑仕事の手伝いをしてくれる優しい子供達です。

◆**ご家族を紹介してください**

野間校区在住
本藏(もくぞう) 知(ち) (43)
渚(なぎさ) (45)
碧海(あまみ) (15)
琉那(るな) (13)

今回は、仲良しファミリー、本藏さん家族を紹介します。

◆**現在のお仕事は**
農業次世代人材投資事業を受けて令和元年度に新規就農しました。作物は、スナップエンドウ・ブロッコリーをメインとし、夏場はゴーヤ・落花生を栽培しています。妻は別に勤めていますので基本私一人ですが、休日はみんなで畑仕事を手伝ってくれます。目標を立てて自分の

出身の妻と出会い結婚しました。当時、二人とも釣りやゴルフに熱中し楽しい日々を送っていました。その後鹿児島の方へ転勤となりましたが、種子島での楽しかった生活が忘れられず5年前に移住してきました。

◆**中種子町(議会)への要望は**
現在、コロナ禍ではあります。新規就農者や若手農家との交流会や視察などの研修会を開催してもらいたいです。また、軽微な農機具を導入する際の補助事業があれば助かります。農業次世代人材投資事業終了後のソフト面での支援体制もお願いいたします。

◆**中種子町に住んでみて**
新規就農し、楽に暮らしていこうと思いましたが、大変な道になりました。しかし、地域活動に参加したり充実した毎日を送っています。これからも家族で楽しく生活できればと思っています。

◆**中種子町に住んでみて**
最後に、同じ志を持つ仲間と交流を深め、より安定した経営ができれば、今後も移住者が住みやすい中種子町になるのではないのでしょうか。

◆**中種子町に住んでみて**
最後に、同じ志を持つ仲間と交流を深め、より安定した経営ができれば、今後も移住者が住みやすい中種子町になるのではないのでしょうか。

◆**中種子町に住んでみて**
最後に、同じ志を持つ仲間と交流を深め、より安定した経営ができれば、今後も移住者が住みやすい中種子町になるのではないのでしょうか。

◆**中種子町に住んでみて**
最後に、同じ志を持つ仲間と交流を深め、より安定した経営ができれば、今後も移住者が住みやすい中種子町になるのではないのでしょうか。

議会傍聴においでください。

令和4年第1回(3月)議会は8日に開催予定です。

中種子町議会では、インターネット(YouTube)で本会議の中継を視聴することができます。会議録も議会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



議会HPのQRコード

編集後記

種子島の2月は、農家にとって最も忙しい農繁期でサトウキビの収穫・植付、甘藷や早期水稲の植付準備等と猫の手でも借りたいくらいです。

旧暦では、2月4日前後の「立春」が1年の始まりです。そのため、立春の前日を「季節を分ける日」という意味の「節分」と称し、豆まきをして一年の穢れ(けがれ)をはらい清める風習が生まれました。

豆は「魔を減する(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があるそうです。

コロナウイルスという魔を減するために、皆様お互いを大切に思い継続した感染防止を行い、健やかで幸福な一年になりますよう、また、日常生活が一日でも早く通常なものになりますよう町民一体となって乗り越えて行きましよう。

広報編集委員会

- 委員長 濱脇 重樹
- 副委員長 戸田 和代
- 委員 迫田 秀三
- 浦邊 和昭
- 橋口 渉
- 池山 喜一郎

